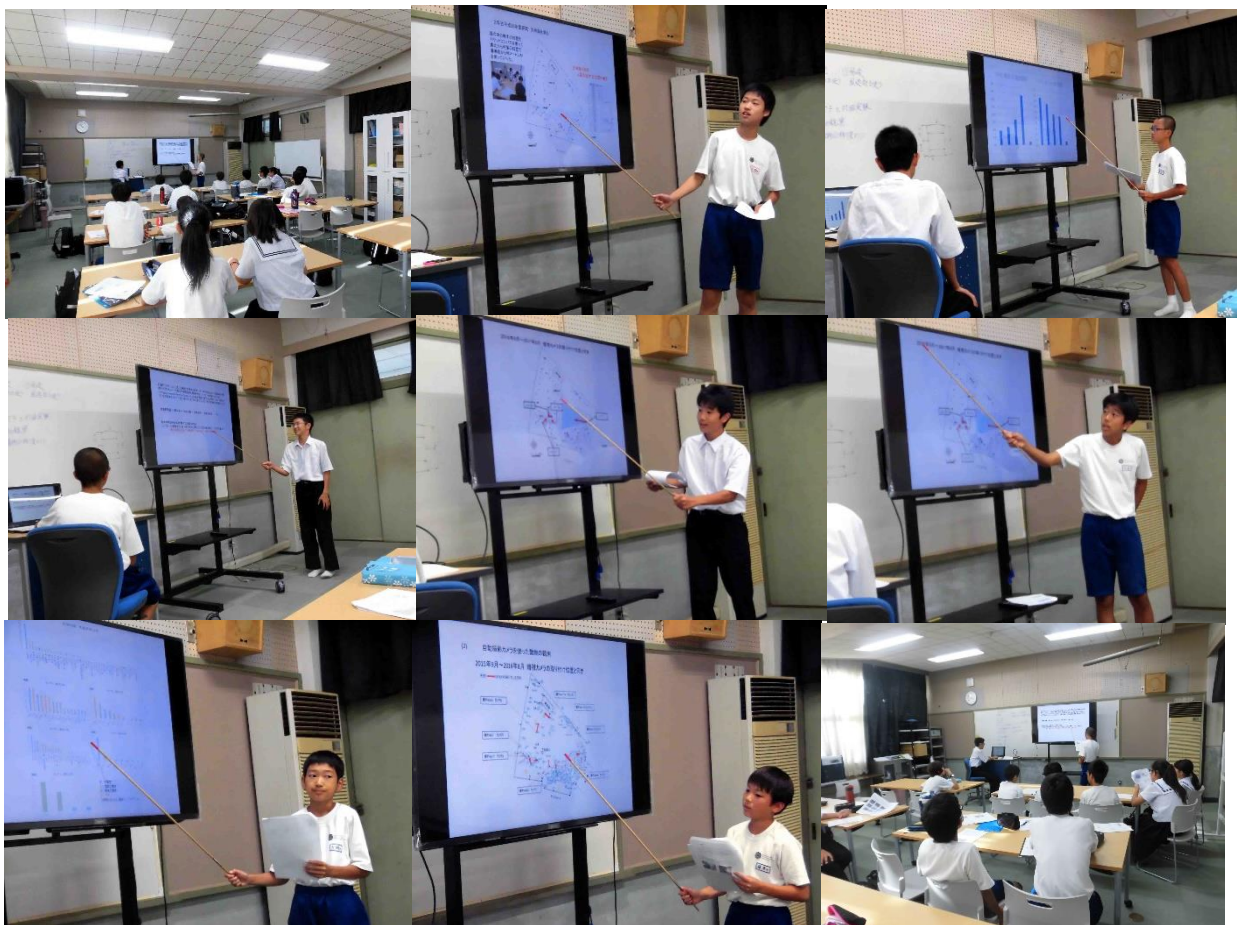




活動レポート

天神森の研究「プレゼン大会」前半の部

9月21日（木）、トップガン理数クラブ・プレゼン大会が附属浜松中学校で行われました。受講者は、中学生17名でした。トップガン教育システム協議会では、浜松科学館にて平成30年1月21日、静岡県、袋井以西の市町の小・中学校に通う児童・生徒等を対象に「第2回小・中学生理科研究プレゼンテーションコンテスト」の審査会を行います。理数クラブでもその参加をめざして、一人一人が研究したことを相手にわかりやすく伝えるためのプレゼンの練習を開始しました。今後、全員が交代で発表し、プレゼン能力を高めていきます。



<「住宅に囲まれた天神森の環境への役割」について交代で発表する様子>

編集部子ども記者より

今回の研究内容は浜松中学校・小学校で3年間を通して研究してきたことの集大成です。僕たちは今回の発表に至るまで協力してくださった先輩や須山建設の方々に感謝するとともに、恥じないプレゼンをするために二年生はもちろんのこと一年生も今後のトップガンを担うことを自覚し練習に臨んでいてもらい「より高きを目指せ、常に崇高であれ」の合言葉を忘れずに探究心を持って練習していきます。

ジャーナル子ども記者 中学2年 山田 青